

2014年1月9日

報道関係者各位

No.62107

株式会社 東陽テクニカ

## Webサイト利用者のトラブルとその行動を4ステップで解析

### イスラエルClarisite社製 “EyeView PA”の提供を開始

(株)東陽テクニカ(本社:東京都中央区 社長:五味 勝)は、Webサイト上で利用者が直面したトラブルとその行動を解析する、イスラエル Clarisite(クラリサイト)社製 “EyeView PA(アイビュー・ピーエイ)”の提供を2014年1月14日より開始いたします。

“EyeView PA”は、Web利用者の行動再生エンジンである“EyeView Tr(アイビュー・ティーアール)”にWebサイト管理者向け解析ロジックを付加したソフトウェアです。

問題が発生した時間帯、アプリケーション名、エラーコードやエラーメッセージ等で、どの利用者が不具合に直面したのかを特定し、そのエラーを引き起こした行動を再生します。

企業のシステム管理者が日々使っているサーバー監視/アプリケーション監視ソリューションの多くは、障害があった事実の確認と問題を引き起こしているプロセスの特定に重きが置かれています。

しかし、お客様と直接対話している部門にとっては、「自分のお客様はトラブルにあっていないのか」「お客様は何をしたのか」「過去にも同じようなことはなかったのか」が重要です。

しかしながら、従来の監視ソリューションでこうした情報を特定するのは極めて難しく、システム管理者が数日から数週間の期間を費やしても判明しないことが決して少なくありません。

“EyeView PA”では4つのステップ(①問題が発生した時間帯の特定 ②問題アプリケーションの特定 ③トラブルに直面した利用者の特定 ④利用者行動の再現)で問題を解決します。数日から数週間かかっていた作業を数分で完了することができ、システム管理者のオペレーションコスト削減に大きく寄与することができます。

“EyeView PA”の特徴は下記の通りです。

(1) Webサイト管理者向け検索機能

エラーコード・エラーメッセージ・エラーページ検索 時間帯特定 アプリケーション特定  
トラブルに直面した利用者特定およびその行動の再現

(2) 利用者環境の分析

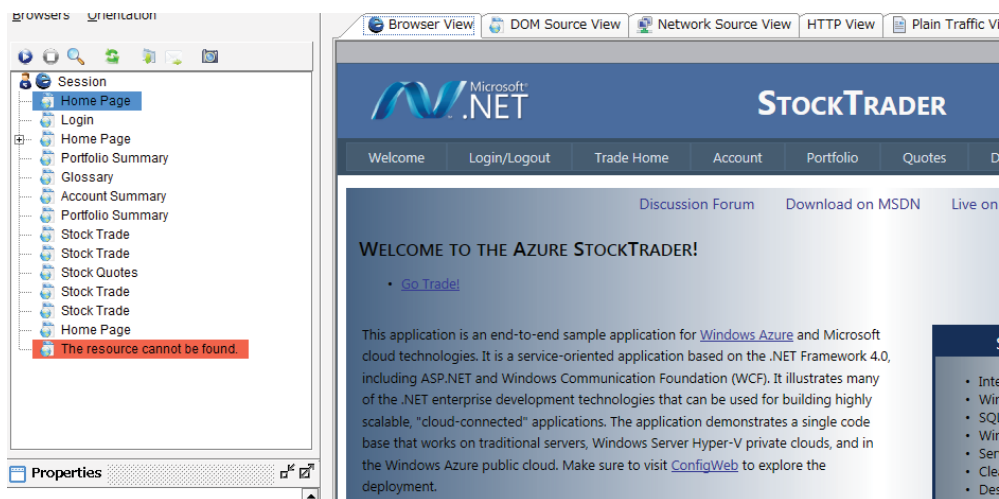
国・地域 OS種別 ブラウザ種別

(3) 統計情報の取得

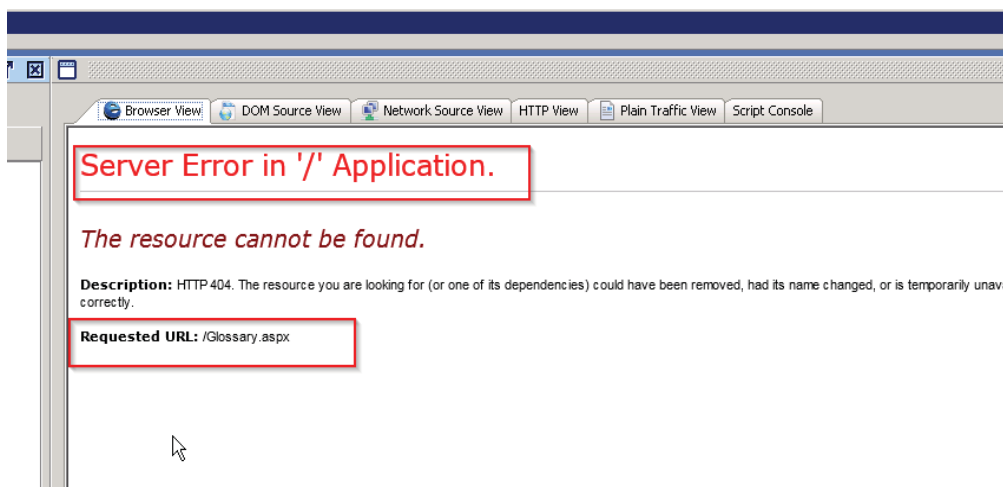
エラーコード別 アプリケーションレスポンス別 国・地域・ユーザー別

(4) クラウド環境での稼働  
パブリッククラウド上にあるWebサイトに対応

画面例



画面例 1 エラーが発生したページがハイライトされた。(画面左 ツリー画面)



画面例 2 エラーページが再生された

価 格 : 2,000,000円 (税別) から

Clarisite社について

名称: Clarisite Ltd.  
(http://www.clarisite.com)

本社所在地: イスラエル

最高経営責任者(CEO): Yoav Schreiber

事業内容: EyeViewソフトウェアの開発・販売および導入

**本件の連絡先**

東陽テクニカ 情報通信システム営業部 EyeView担当

Tel 03-3245-1250

Mail (EyeView\_Sales@toyo.co.jp)

EyeView関連のURL (<http://www.toyo.co.jp/EyeView>)

- ※ 本リリースに記載された社名および製品名は各社の商標または登録商標です。
- ※ 記載の商品名、担当部署、WebサイトのURLなどは、本リリース発表時点のものです。